

NPO法人

気象キャスターネットワーク

会報



空色レポート

17号
2019



特集

「積乱雲を体験すること」

荒木健太郎さん

キャスターレポート

くぼてんきさん

気象キャスターネットワークの活動をご紹介
気象キャスターによるお天気のお話

特集

積乱雲を体験すること

筆者・撮影者：荒木 健太郎さん



積乱雲というと気象災害の要因となる代表格の雲です。予報現場にいる方や気象キャスターの皆さんは積乱雲の監視・予測に悩まされていると思います。積乱雲は時空間スケールが小さい現象であり、これが監視・予測の難しさのひとつの大きな要因です。

そのため、科学の発展している現代においても、空や雲の変化を見て天気を予想する「観天望気」が重要です。積乱雲による天気の急変を予想する観天望気としては、発達中の雄大積雲の雲頂に現れる頭巾雲、積乱雲に伴うかなとこ雲、青空に広がるかなとこ雲が由来となる濃密巻雲、濃密巻雲の雲底に現れる乳房雲、ガストフロント上のアーククラウドなど、様々なものがあります。これらの詳細は巻末で紹介する著書でおさらいしていただければと思います。

天気の急変を呼びかける雲の声に気づいたら、すぐにレーダーの雨量情報を確認し、事前に避難するということを、一般市民の方に伝えていただければと思います。

私が予報現場にいた経験や研究者の立場から、気象に携わっている皆さんにお伝えしたいのは、ぜひ現象を体験してほしいということです。我々が予報現場などで見ているモデルやレーダー観測の結果はあくまで数値であり、現象の側面を見ているにすぎません。それらの数値に振り回されずに、上手に現象と付き合うには、実際に向き合って体験して知ることが必要です。そこで、積乱雲の美しい側面をいくつかご紹介したいと思います。

下の写真は積乱雲内の上昇流が対流圏界面を突破して成層圏まで達しているオーバーシュートです。かなとこ雲で可視化された対流圏界面の上部にまで立ち昇る姿は圧巻です。写真のように地上からも見られるので、かなとこ雲を見かけたらぜひ探してみてください。



オーバーシュートする積乱雲
(2018年8月30日茨城県つくば市)

また、頭巾雲は雄大積雲に伴う上昇流で湿った空気の層全体が持ち上げられて凝結した雲ですが、過冷却雲粒でできているため、太陽の近くに頭巾雲が現れると彩雲になることがあります。しかも頭巾雲の雲粒はレンズ状雲と同様にある程度均一でサイズも小さいので、綺麗な虹色になります。轟く遠雷と虹色の頭巾雲の組み合わせはとても幻想的です。

そしてこれからの季節、見逃せないのが積乱雲で生まれた薄明光線です。関東などのように西側に山岳がある地域では、夕立をもたらす積乱雲に太陽が隠れ、美しい光の筋が夕空にのびることがあります。そんなときは焼け色に染まる西の空に注目しがちですが、ぜひ反対側の空も見てみてください。対日点に向かって薄明光線が収束する反薄明光線も出ている可能性が高いです。



彩雲になった頭巾雲
(2018年8月25日茨城県つくば市)



積乱雲からのびる影
(2016年9月6日茨城県つくば市)



反薄明光線
(2018年8月26日茨城県つくば市)

このように、積乱雲は幻想的な光景も我々に見せてくれます。これも積乱雲のひとつの側面であり、写真では伝わり切れない部分もあると思います。この夏、予報・解説作業の合間にぜひ空を見上げて、目の前にいる積乱雲を体感してみてください。積乱雲と向き合った経験は、きっと予報・解説作業に生きてくることでしょう。

推薦図書レポート

今回ご寄稿頂いた
荒木健太郎さんの著書です



『雲を愛する技術』
[光文社新書]
著 荒木 健太郎

あらゆる雲や大気現象を網羅的に解説しています。気象解説のネタの宝庫。番組制作のおともにどうぞ。



気象キャスターネットワークでは、タブレット端末用の子ども向け防災教材Webを開設しました。タブレット端末を持って街を歩きながら、あぶない場所などを登録し、ぼうさいマップを作ることができます。



タブレットはこちらから
アクセス

お天気ぼうさい探検隊

検索

くぼてんき さん (気象キャスター 気象予報士)

日本テレビ「ZIP!」 出演中



4月から日本テレビの朝の番組「ZIP!」で気象キャスターをしています、くぼてんきです。髪型と名前だけでも覚えて帰っていただけると幸いです(笑)

気象予報士の資格は、今から約15年前、某お笑い事務所の養成所在学中に取得しました。

それから「そのこの天気の子」と周りから呼ばれるようになり、そのまま名前になりました。ちなみに髪型は入道雲をイメージしており、養殖パーマです。(天然パーマだと思っていた方、すいません)

さて、今年の3月まではtvk(テレビ神奈川)で3年間、夕方と夜のニュースを担当しており、日付が変わる頃に帰宅するという生活をしていました。

しかし、今は日付が変わる頃に起きる生活に一変。

初めの1週間は布団に入っても寝られず、海外旅行をしていないのに時差ボケ感覚でした。しかし、今では夕方には眠たくなる体に…。慣れるってすごいですね。

ただ、6歳と4歳の子どもがいるんですが、子どもより先に寝ちゃう事も増えてしまい、翌日よく怒られます。

また、目覚まし時計をかけずに寝る事が出来る休日も、午前1時か2時には絶対に一度起きてしまいます。これはどうにかしたいですね…。起床予報が難しい。

一変したのは生活リズムだけでなく、扱う天気予報も変わりました。

夕方ニュース・夜ニュースでは「あすの天気」が中心でしたが、朝は「きょうの天気」です。当たり前の事なのですが、放送時間によって、見ている方や知りたい情報が違うんだと改めて気付かされました。

また、朝の時間帯は何かをしながら天気予報を見ている方が多いため、出来るだけ短いワードで出来るだけ分かりやすく伝えるのがポイントになりました。

そして、エリアも「神奈川」から「全国」になり、雪と高温の情報を同時に伝える事なども出てきました。

ただ、天気予報の時間(尺)は決められているので、伝えたい事はたくさんあっても何をカットするのか、優先順位で悩む毎日です。

視聴者にはどのように届いているのか。

視聴者の代表として、妻に「何が知りたいか」「何が要らないか」をよく聞いています。

ただ、この視聴者代表のダメ出しが…いや、アドバイスが厳し…いや、素晴らしいんです。半泣きになるくらい素晴らしいんです。

私の天気予報を見て、私の目が腫れていたら、前日に素晴らしいアドバイスを貰ったんだと思って下さい(笑)



新人気象キャスターレポート

とちぎテレビ
かみや あゆみ
神谷 亜弓
キャスター



出演開始から2か月が経ちました。解析技術もプレゼン能力も未熟で放送を見返しては悔しさを噛みしめる日々です。ただ、この仕事への思いも徐々に高まるようになりました。今後も常に挑戦し続けられるよう、今感じていることを大切にしていきたいと思います。

NHK沖縄
ゆいの あき
結野 亜希
キャスター



気象キャスターになって2ヶ月あまり。解析もプレゼンも、まだまだだなぁと反省ばかりの毎日です…。地元の局で務められることに感謝しながら、今後も勉強を重ね、役に立つ気象情報をお届けしたいです!

協賛企業・団体募集のご案内

子どもたちへの気象や環境に関する様々な出前授業を全国各地の小中学校や幼稚園などで実施しております。天気の実験やクイズを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。天気や環境に関心を持ち、防災や地球環境を守る行動につなげられるよう、気象キャスターが分かりやすく解説します。皆さまのご協賛、ご支援をよろしくお願い致します。

ダムの魅力

今村 涼子さん(正会員)



気象キャスターになって19年目、天気の仕事を通じて興味を持ったことがたくさんありますが、その中の一つに、ダムがあります。気象情報の中で、ダムのお話を伝えることができますが、取材でダムを訪れるうちに興味を持ち、ダムファンになりました。

私を感じるダムの魅力は、まず、あの人工物である巨大なコンクリートの塊が、不思議と自然の中にとけ込んでいて、四季折々美しい景色を見せてくれること。また、ダムの形にも一つ一つ個性があり、それぞれにカッコ良さや美しさを感じられることです。

特に、放流時は、水の流れ方も様々で、どれも見応えがあります。

例えば、群馬の矢木沢ダムの点検放流は、とてもダイナミックで迫力がありますが、岐阜の徳山ダムの放流は、レースのような水紋を描き、とても優美です。

2年前からは、番組で特集企画「今村予報士お勧めダムの絶景旅」というコーナーもやらせていただくようになり、色々なダムを訪れています。

今年の5月には、岐阜を訪れ、巨大な徳山ダムと歴史ある大井ダムに興奮し、去年の秋には、新潟を訪れ、二居ダムと奥只見ダムの紅葉に感動しました。

そして、ダムは、外見のカッコ良さだけではなく、防災時、渇水時、また発電など、非常に重要な役割を果たしていて、あのよう山奥で黙々と、下流に住む人たちの生

活を支えているということも、心打たれるポイントです。

次のダム旅の企画は秋に予定していて、どこのダムに行こうか、今からわくわくしながら考えています。



徳山ダムの放流

食 レポート

夏の定番！かき氷

新村 美里さん(正会員)



この春から地元・群馬で気象キャスターの仕事を始めました。群馬といえば「暑い」というイメージがありますが、本当にその通りで、今年も梅雨前から真夏日が続出。そこで先日、涼を求めて子供のころから通っているかき氷店へ行ってきました。オレンジのシロップはあまり他のお店では見かけない、あんずのシロップ。さらに、このお店のかき氷は

バニラアイス付きも選べるんです！酸っぱいシロップと甘いアイスのバランスが絶妙で、大きいサイズでもペロッと食べられてしまいます。今まで約11年県外で生活し、今年の夏は久しぶりに地元で過ごします。このかき氷にいったい何回お世話になるのでしょうか…群馬の暑さやいかに？！

フォト レポート

宍道湖岸から望む夕日

山根 収さん(正会員)



松江市の宍道湖岸から望む夕日。日本海側ならではの夕日スポットが多い島根、ぜひ縁結びの国へ（予報をして）夕日巡りにお越しくください。

講演・イベント承ります

気象キャスターや気象予報士が、天気や防災、環境について講演や講座、イベントなどを全国各地で開催しています。気象キャスターによる講演のほか、親子で楽しく学べるイベントなども多数実施しております。詳しくは当会HPよりお問い合わせください。

講演例

- ・地球温暖化の影響と災害への備え
- ・気象キャスターがみた地球温暖化と異常気象など

4月13・14日 気象環境ツアー『岡山・広島被災地視察会』

4月13日(土)と14日(日)の二日間、国土交通省中国地方整備局にご協力いただき、西日本豪雨被災地の視察会を実施しました。

1日目は岡山・真備町へ。真備町は約5メートルもの高さまで浸水した地域です。今もなお手付かずの状態の家屋が多く見られました。被災された方から当時についてお話しいただける機会を賜り「避難を呼びかける際にはより具体的に伝えてほしい」と伺いました。



2日目は広島へ。5年前の広島豪雨の被災場所にも訪れ、砂防堰堤も見学しました。(右図➡)中国地方整備局の方の解説を聞き、当時の様子や対策などより理解が深まりました。被災地を訪れ、自分の目で耳で感じることの大切さを痛感した2日間でした。

<広島在住 岩永理事より>

普段、気象キャスターはスタジオで日々の天気予報を伝えるのが中心で、実際に災害現場に行く機会はありません。ただ災害の危険度は気象データだけではわからない。より効果的な警戒の呼び掛けには、そこがどういう場所かを知ることがとても重要です。真備町や呉市、広島市などの被災地を実際に見て感じたことが、会員のみなさんの活動に何かしら役立つことがあれば幸いです。



6月2日 気象庁主催 『防災情報についての勉強会』

6月2日気象庁で、全国各地の気象キャスターや気象予報士が集まり勉強会を実施しました。講師の気象庁の高木様と坪井様から危険度分布などの防災気象情報、5月29日から始まった5段階の警戒レベルなどについて詳しくご説明いただきました。勉強会後は気象庁と気象キャスターとで今

回の防災情報において、現段階で話が進んでいるキー局・地方局での取り組み、気象庁への要望など活発な意見交換がなされました。防災情報を伝える気象キャスターと気象庁の連携はとても重要です。相互に理解を深めるために、今後も勉強会の機会を設けていく予定です。



6月23日 『気象キャスター座談会』



6月23日、「2019気象キャスター座談会」が開催されました。キャスターは3名、テレビ朝日の今村涼子さん、日本テレビのくぼてんきさん、とちぎテレビの神谷亜弓さん、コーディネーターは日本テレビ気象キャスター、当会代表の藤森涼子です。学生さんから社会人の方、気象キャスター経験者までたくさんの方にお越しい

ただきました。講演後はキャスター1名と参加者数名でグループを作り、質疑応答の時間を設けました。キャスターをより身近に感じられたのではないのでしょうか。



7月15日～21日 環境省後援 写真展『天気のみカタ、自然のみカタ』

7月15日～21日にかけて1週間、当会主催・環境省後援で写真展が開催され、好評を博しました。気象キャスターや気象予報士など80名以上の会員の方からそれぞれ思い入れのある作品を厳選してもらい、展示しました。仕事柄日々空を眺め、天気の変化を観察しています。海や山に出かけて地球温暖化など環境の変化を肌で感じているキャスターたちの想いを込めたほかにはな

い写真展となりました。出展いただいた武田康男さん、菊池真以さんらと共に、トークショーも開催。今回展示した写真の説明から、天気や自然を撮影する上でのポイントなど、いろいろなお話しをしていただき、盛り上がりました。今回ご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。



【募集中】 出前授業・講

【地球温暖化の最新情報】

未来の地球と私たちの暮らし

気象キャスターネットワークでは、環境省から委託を受けて、全国の小中学97校で、地球温暖化の最新情報とその対策についての出前授業を実施する予定です。環境省の地球温暖化防止コミュニケーターとして登録された気象キャスターが学校に伺い出前授業を行います。実験やクイズを通してエネルギーについて知り、未来の地球のために、今私たちに何ができるのかを考えていきます。

■募集内容

- ・実施期間：2020年3月まで
- ・授業内容：「2100年未来の天気予報」を実演し、温暖化の原因や対策などについて子供向けにわかりやすく解説
- ・時間 45分
- ・募集対象 小学5～6年生
- ・費用 無料



【減災プロジェクト2019】

近年、地球温暖化が原因と思われる異常気象が増えており、大規模な災害も発生しています。

全国の気象キャスターや気象予報士が中心となり、気象、環境、防災をテーマに活動している気象キャスターネットワークでは、「減災プロジェクト」を立ち上げ、小学校での出前授業を実施しています。またイベント、講演などにも気象キャスターを派遣して防災、減災の必要性を伝えていきたいと思っています。専門的な気象・環境の知識とコミュニケーション能力を兼ね備えた気象キャスターは、「環境・防災のメッセンジャー」です。テレビやラジオで活躍中の気象キャスターが皆様の町に伺いますので是非お申し込み、ご依頼を頂ければ幸いです。



■出前授業について

- ・実施期間 2020年3月まで
 - ・授業内容 ①気象と防災
②地球温暖化のどちらか
 - ・時間 45分（1時限）
 - ・実施回数 30回
 - ・実施場所
地域は問いませんが、学校の授業内での実施。
 - ・費用 無料（学校側の負担は無し）
- ※講師の指名は出来ません
※幼稚園・保育園などでの実施についてはご相談ください

■イベント出演・講演について

- ・実施期間 2020年3月31日まで
 - ・講演内容 防災、気象、地球温暖化に関するもの
 - ・実施回数 制限なし
 - ・実施場所 場所、地域は問いません
 - ・費用 依頼者負担
（旅費がかかる場合も依頼者負担でお願いします）
- ※講師の希望がございましたら、出来る限りご希望に沿う形で調整させていただきます。

訪問するキャスターのご紹介



おかやす さとみ
【東海地区】
岡安 里美さん

授業で会う子供たちは、本当に素直で熱心。地球の未来について、真剣な眼差しを向けて聞いてくれる様子に、頼もしさを感じると同時に、どう伝えたら納得してもらえるか、私もいつも勉強です。温暖化について正しく理解し、自分たちに今、何ができるのか考えてもらうきっかけになれば嬉しいです。



きたの かなこ
【中国地区】
北野 加奈子さん

カーブ大好きな広島っ子は、積極的に勉強熱心。牛のゲップと温暖化の関係を話してくれた児童もいます。後日、自分の気持ちをたくさん書いた手紙ももらいました。そんな子供たちの心に残る授業ができるよう、これからも全力投球で臨みたいと思います。



ささき りえ
【九州地区】
佐々木 理恵さん

なぜ今日の空は綺麗なの？なぜ大雨が降るの？実はたくさんの疑問があると思います。その“なぜ”に答えます。気象は、身近なことから地球全体に至るまで、繊細で壮大です。知ると新しい世界が見えてくるはず。これこそ学びの面白さ。キラキラ光る瞳に出会えるのが毎回楽しみです。

<ご案内> 熱中症予防情報を公開中です

暑さ指数（WBGT）を表示するページを開設しております。WBGTは、気温だけでなく湿度などを加味した体感温度を表現する指数で、熱中症の危険度がわかります。パソコン向けページでは好きな地点を検索表示することが可能で、スマートフォン向けページではGPS機能で所在地の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。情報は毎日更新されます。学校現場など、この夏の熱中症対策にぜひご利用ください。

詳しくは当会HPへ！
スマホ・携帯でも閲覧できます
http://www.weathercaster.jp/heat_stroke/



事務局からのお知らせ



毎年8月1日は水の日です。気象キャスターネットワークでは水の日に関連事業として、親子向けイベントを実施します！

■日時： 8月13日（火） 午後1時～

■丸の内キッズジャンボリー

教えて！水のこと！～水の大辞典～

■気象キャスターが教える

「天気と防災教室」

空から降ってくる雨は、私たちが生きていくための大切な水資源となりますが、大雨が降ると様々な災害が発生します。気象キャスターと一緒に雲や雨の仕組みを知り、自然災害から身を守るためにはどうすればいいのか考えてみましょう。座学だけでなく全員参加の実験やクイズなどもあり親子で楽しく学べます。（定員60名・要整理券）

気象キャスターネットワークとは…

◆私たちの目的◆

私たち気象キャスター・気象予報士は、環境破壊や気象災害から人命・財産を守るため、多くの人々と一体となって環境問題の解決と気象災害の軽減に関する啓発・教育活動を実践します

◆私たちの環境教育活動◆

気象・防災・環境の知識とコミュニケーション能力を兼ね備えた気象キャスターを、理想的な『地球環境教育と防災のメッセンジャー』と位置づけ、これからの地球を支える子供達への教育を通して社会に貢献しています。

◆気象・防災知識の普及活動◆

- ・講演会やイベントへの講師派遣
- ・自然体験講座の開催
- ・気象予報士の育成
- ・気象キャスター向け講座の実施



(広告)

日本の森と水と空気を守ります。
Eco Value Interchange

Jクレジットの流通促進 国産木材の活用促進 環境貢献型商品開発
カーボン・オフセット ノベルティー提案 お買い物で環境貢献

(EVIは森林事業者と企業、消費者を結ぶ) ただひとつの環境貢献プラットフォームです。
環境絵本の無償配布、道の駅連携などを通じて地域活性化を推進しています。

カルネコ株式会社 EVI推進協議会
03-5220-6234

(広告)

山の天気予報

安全な登山は、信頼できる山の予報から。

山の天気は、山岳気象のプロにおまかせ！

山岳気象に精通した気象予報士が、全国18山域、59の山頂の天気を毎日予想。

大荒れ情報や気象レーダー、高層天気図も掲載しています(有料)。

検索 🔍

ヤマテン

株式会社 ヤマテン

編集後記

この会報を編集している時期に、九州南部を中心に記録的な大雨となりました。毎年同じ時期に気象災害が起きています。気象キャスターネットワークでは、ひとりでも多くの命を救えるよう、今後とも気象災害の軽減に関する活動をしていきたいと考えております。何卒よろしくお願いいたします。[名倉]

編集・発行

NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21 高遠レジデンス上野桜木202号室

TEL : 03-5832-9401 FAX : 03-5832-9402

発行日：2019年7月20日(第17号) 表紙写真：川瀬宏明さん